

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和8年 2月 2日

発行責任者

校長 吉田 充

きさらぎ

校長 吉田 充

3学期が始まってあっという間に2月になりました。2月4日は立春で暦の上では春となります。そしてその前日の3日は節分で、「季節を分ける」「変わり目」ということから、節目の時期に差ししかかったと感じています。

2月のことを「如月」（きさらぎ）と呼ぶことがありますが、これは旧暦の2月の別称です。このように月の名前を和風の呼称で表したものを「和風月名：わふうげつめい」といい、旧暦の季節や行事、風習などに合わせて昔の日本人は月を呼んでいたそうです。

「如月」は中国の2月の別名「にょげつ」が由来とされていて、寒い日が終わり、春に向かって万物が動き出すという意味があるそうです。そして「きさらぎ」という読み方は、まだ寒さが厳しく衣を重ね着することからきた「衣更着」、これから陽気がよくなってくることからの「気更来」、草木が生え始めてくることを意味する「生更木」など諸説あるようですが、どれも厳しい冬の寒さを乗り越え、暖かな春の日の訪れを待ちわびる人々の思いが表れているようで、感慨深さを感じます。

ところで、学校評価における児童の学校生活アンケートでは、「学校で楽しく生活しています。」の設問に対し、96%の子供たちが「あてはまる」「だいたいあてはまる」と肯定的な回答をしている一方で、4%の子供たちが「そうではない」と否定的な気持ちを表しています。

子供たちは、これまでの学校生活の中で心も体も大きく成長してきましたが、楽しかったことやよかったことばかりではなく、時には、冬の寒さのように身にこたえる厳しさを感じたこともあったかもしれません。数字の上では、ほとんどの子供たちが元気に学校に通っているとも言えますが、日々いろいろなことがある中で、大変さなども感じたり、乗り越えようとしたりしながら、その子なりにがんばっているのだと思います。そう考えると、「きさらぎ」は、まもなく来る春が見え始める頃、これまでの成長や課題を振り返りながら、新たなステップに向け夢や希望を抱くよい機会ではないかとも思います。

寒空の中を登校する子供たちに、「おはよう。寒いけどがんばってね。」と声をかけるとニコリ笑顔で「はい。おはようございます。」とあいさつを返してくれる子供たちに、私自身が大きな勇気と元気をもらっています。これからも、保護者、地域の皆様方と、富士見っ子のよさやがんばりを共有しながら、さらに可能性を伸ばしてまいります。今年度も残りあと2月となりました。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。